

Kaspersky Endpoint Security 11 for Linux インストールガイド

2023/04/10

株式会社カスペルスキー
セールスエンジニアリング本部

Ver 2.3

1. はじめに	3
1.1. 本資料の目的	3
1.2. 製品概要	3
1.3. 前提条件	4
1.4. 注意事項	4
1.5. インストールの流れ	5
2. アプリケーション管理対象プラグインのインストール	6
3. ポリシー、タスクの設定	9
4. ネットワークエージェントのインストール	13
5. KESL のインストール	22

1. はじめに

1.1. 本資料の目的

本資料では、「Kaspersky Endpoint Security for Linux」をインストールする手順、及び管理サーバーにて管理する手順についてご説明します。

1.2. 製品概要

それぞれの主な役割は以下の通りです。

- **Kaspersky Endpoint Security 11 for Linux (KESL) :**
Linux OS（サーバー、ワークステーション）を対象としたアンチウイルス製品です。マルウェアのスキャンや駆除を行います。
- **Kaspersky Security Center (KSC) :**
KESL や、他のカスペルスキー製品を集中管理するための管理サーバー製品です。定義データベースの配信やポリシー・タスクの管理を行います。
- **Kaspersky Security Center ネットワークエージェント :**
KSC とクライアントデバイスが通信をするために必要となるアプリケーションです。KSC から定義データベースを受信、ポリシー・タスクなど管理情報の更新、クライアントデバイスのステータス送信などを行います。

1.3. 前提条件

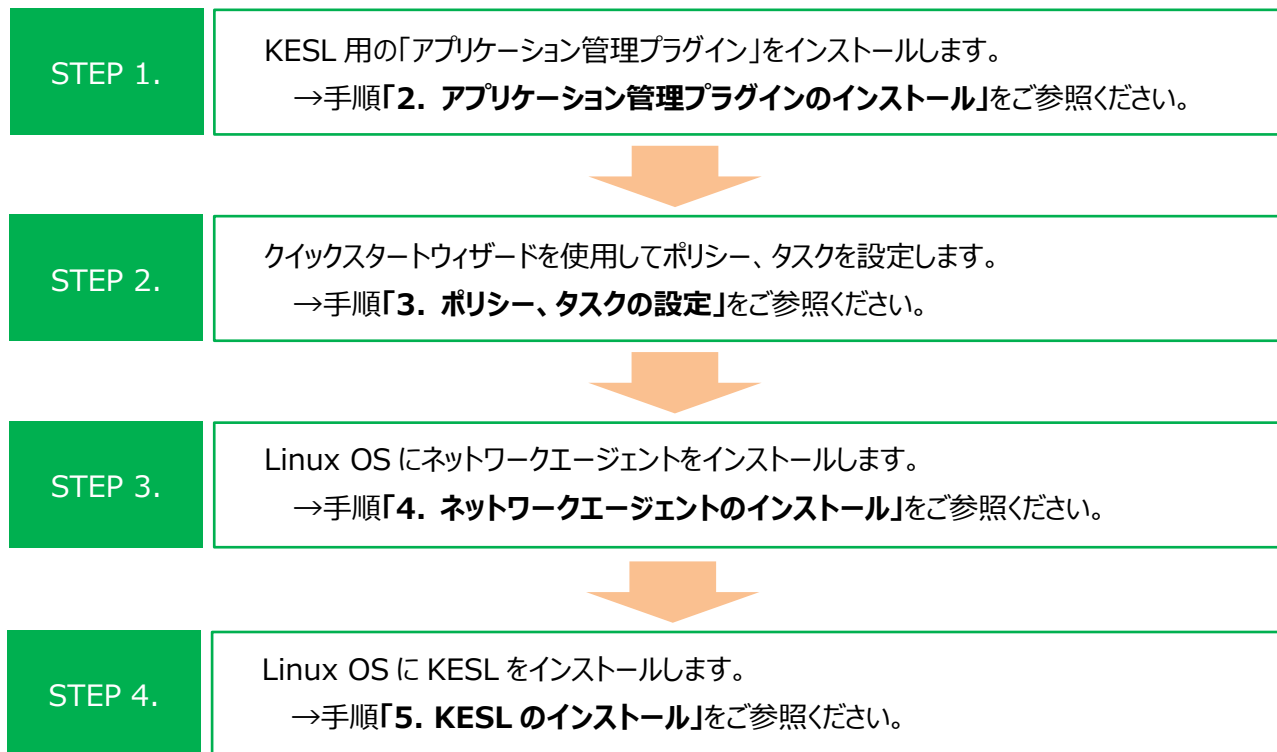
- KESL が適切に動作するためにインストール先のコンピュータが最低システム要件を満たしていること。
<KESL システム要件>
<https://support.kaspersky.com/help/KES4Linux/11.3.0/ja-JP/235168.htm>
- 「KSC14 インストールガイド」に記載された内容が実施済みで KSC の初期構築が完了していること。
(KESL のアプリケーション管理プラグインおよびインストールパッケージのインストールを除く)

1.4. 注意事項

- 必要なパッケージがインストールされていない場合、依存性の欠如のエラーが出力されます。
ソフトウェア要件を確認の上、本章の作業を実施してください。
- 手順内ではメジャーバージョン以外は全てバージョン表記を“x”と記載しています。
インストール実施時は弊社サポートサイトより最新のバージョンをダウンロードしてください。

1.5. インストールの流れ

カスペルスキー製品導入の流れについてご説明します。



カスペルスキー製品の導入に関する各資料は、以下サイトから閲覧、ダウンロードすることができます。

- ・ 法人のお客様向けダウンロード資料 (<https://kasperskylabs.jp/biz/>)

2. アプリケーション管理対象プラグインのインストール

本章では、KSC に対し、KESL 用の「アプリケーション管理プラグイン」をインストールする手順についてご説明します。

※「アプリケーション管理プラグイン」とは

KSC にてカスペルスキー製品を管理するためにインストールするコンポーネントです。アプリケーション毎に用意されており、ポリシー・タスクの作成、クライアントデバイスから受信する情報の取得などに使用します。

- (1) アプリケーション管理プラグインのインストールの前提条件となる Microsoft Visual C++ 2015 Redistributable Update 3 RC をインストールします。
以下のサイトにアクセスします。
<https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=52685>

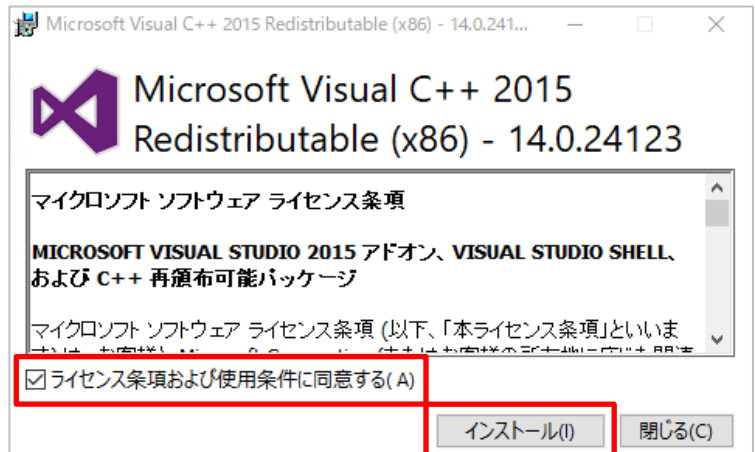


- (2) 「ダウンロード」をクリックし、「vc_redist.x86.exe」を選択後、「次へ」をクリックしファイルをダウンロードします。
ダウンロード完了後、「vc_redist.x86.exe」を実行します。

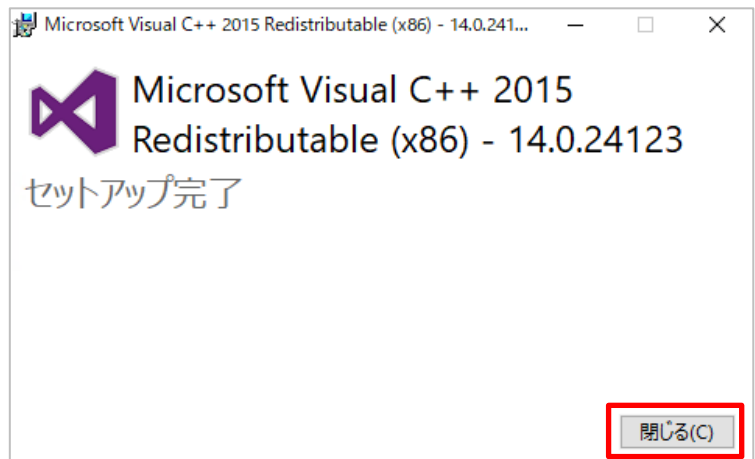


- (3) 「ライセンス条項および使用条件に同意する」にチェックをつけ、「インストール」をクリックします。

※ インストールに失敗する場合は
Windows Update を行い、
OS を最新の状態にしてください。



- (4) セットアップ完了が表示されることを確認し、「閉じる」をクリックします。



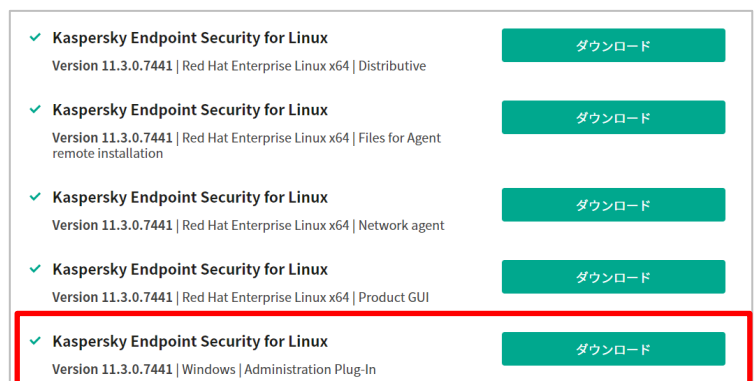
- (5) アプリケーション管理プラグインをダウンロードします。

以下サイトを開き、「最新版をダウンロード」をクリックします。

<https://support.kaspersky.co.jp/kes11linux#downloads>

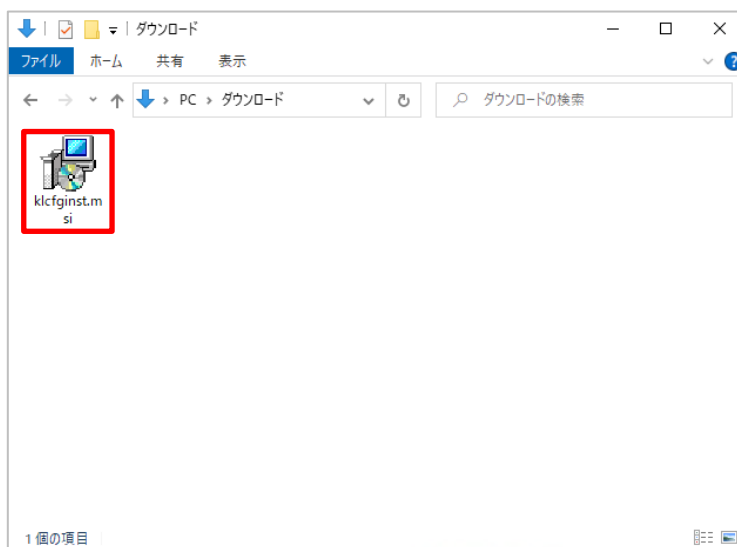


- (6) 表示されたパッケージ一覧内の KESL 用の管理プラグイン : 「Version 11.x.x.xxxx | Windows | Administration Plug-in」の「ダウンロード」ボタンをクリックします。



(7) KSC 上でダウンロードした
「klcfginst.msi」を実行します。

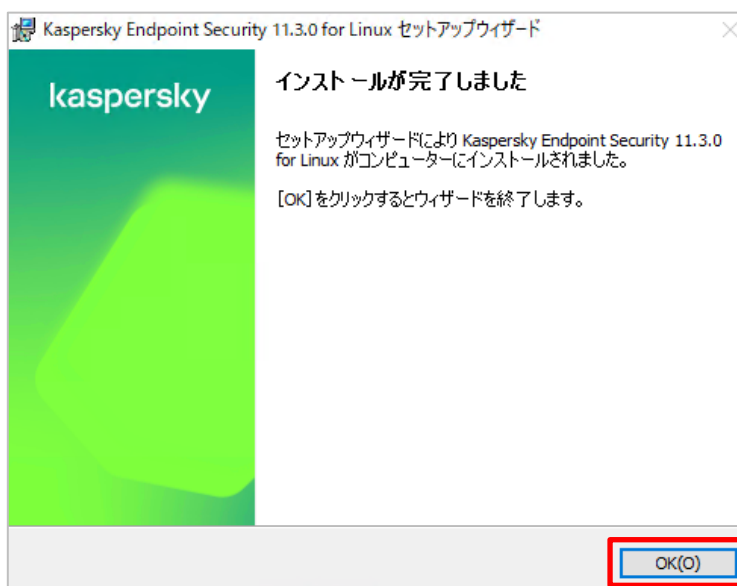
※ 実行前に KSC 管理コンソールは
終了してください。



(8) 「次へ」をクリックします。



(9) ウィザードが自動で進行します。インストール完了後、「OK」をクリックします。



本章は以上です。

3. ポリシー、タスクの設定

本章では、KESL の利用に最低限必要なポリシー、タスクを「クイックスタートウィザード」を使用して作成する手順についてご説明します。

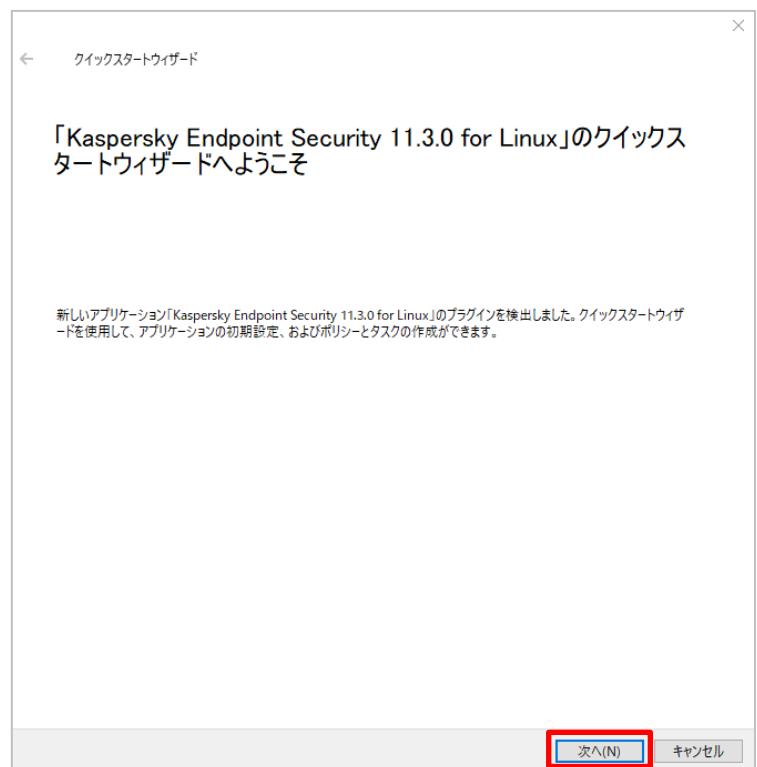
※ ポリシー、タスクとは

ポリシーとは、KESL の各種機能をどのように適用させるかのルールを設定し、普段デバイスをどのように保護するかを決定します。

アップデートやスキャンなど、定期的に行う必要がある作業は「タスク」として定義します。

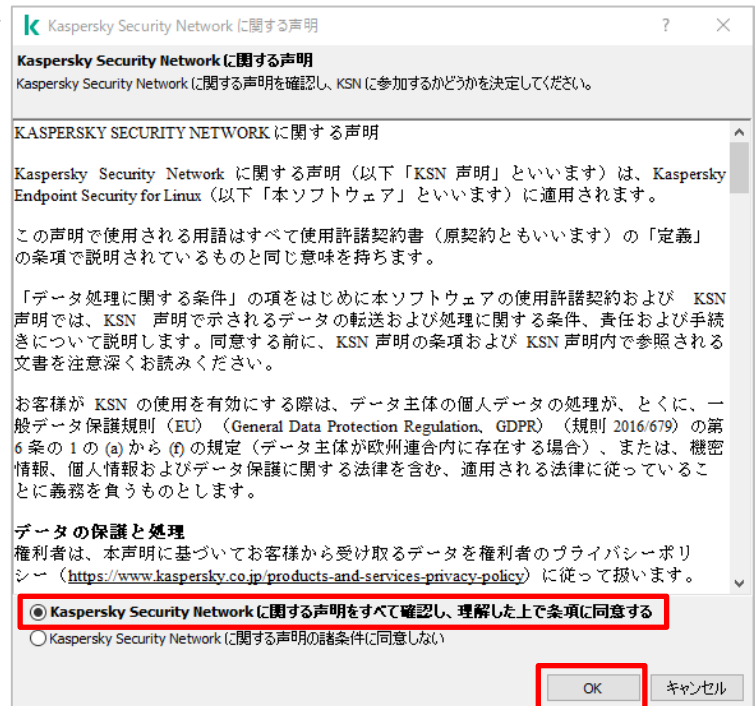
ポリシーは常時動いている設定、タスクはスケジュールか手動で動かす一時的な動作と言えます。

- (1) KESL 用のアプリケーション管理対象プラグインをインストール後、KSC 管理コンソールを開くとクイックスタートウィザードが自動起動します。「次へ」をクリックします。

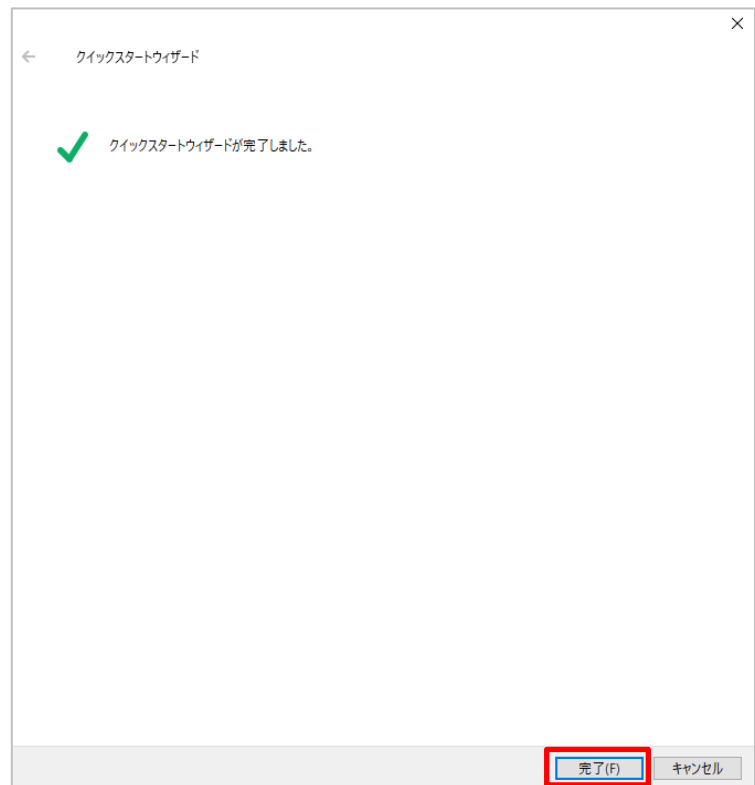


(2) Kaspersky Security Network に関する声明の確認です。

Kaspersky Security Network を利用する場合は「Kaspersky Security Network に関する声明をすべて確認し、理解した上で条項に同意する」をクリックし、「OK」をクリックします。



(3) 「完了」をクリックします。



(4) KESL を管理する管理グループを開きます。ここでは「管理対象デバイス」とします。

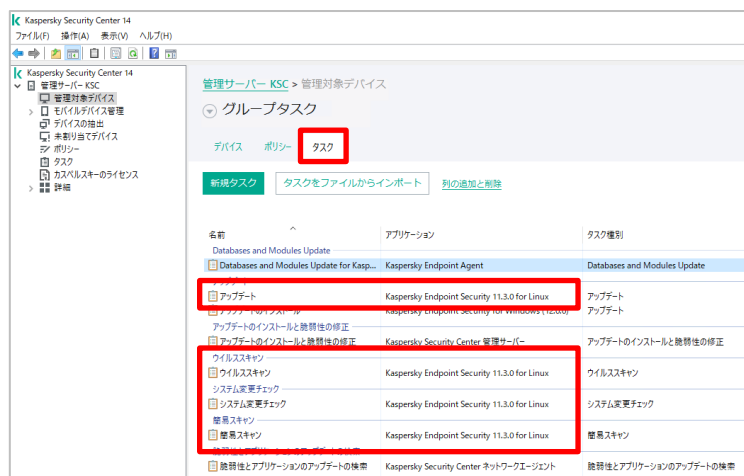


(5) 「ポリシー」タブを開き、KESL 用のグループポリシーが作成されていることを確認します。



(6) 「タスク」タブを開き、KESL 用の以下タスクが作成されていることを確認します。

- ・アップデート
- ・ウイルススキャン
- ・システム変更チェック
- ・簡易スキャン

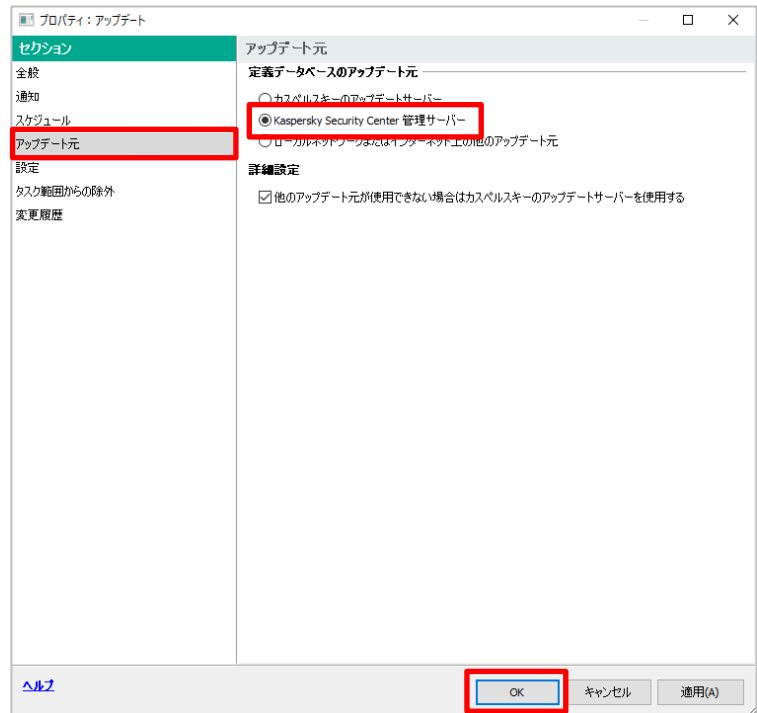


(7) 定義データベースのアップデート元を変更します。「アップデート」タスクをダブルクリックします。



- (8) 「アップデート元」セクションをクリックし、「定義データベースのアップデート元」を「Kaspersky Security Center 管理サーバー」に変更し、「OK」をクリックします。

※インターネット上から定義データベースをダウンロードする場合、既定値である「カスペルスキーのアップデートサーバー」のまま変更せず閉じます。



本章は以上です。

4. ネットワークエージェントのインストール

本章では、Linux OS に対し、ネットワークエージェントをインストールする手順についてご説明します。

尚、本章では x64 ビットの OS に対するインストールを想定した手順となります。x86 ビットの OS にインストールする場合は x86 ビット OS 用のインストーラーをご利用ください。

- (1) 以下サイトを開き、「最新版をダウンロード」をクリックします。

<https://support.kaspersky.co.jp/kes11linux#downloads>



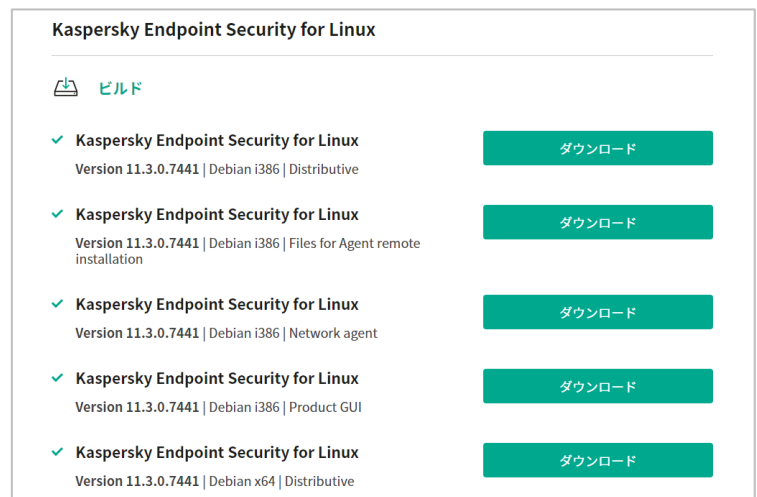
- (2) 表示されたパッケージ一覧内のネットワークエージェントインストール用ファイルをダウンロードします。

※RHEL 系 OS の場合

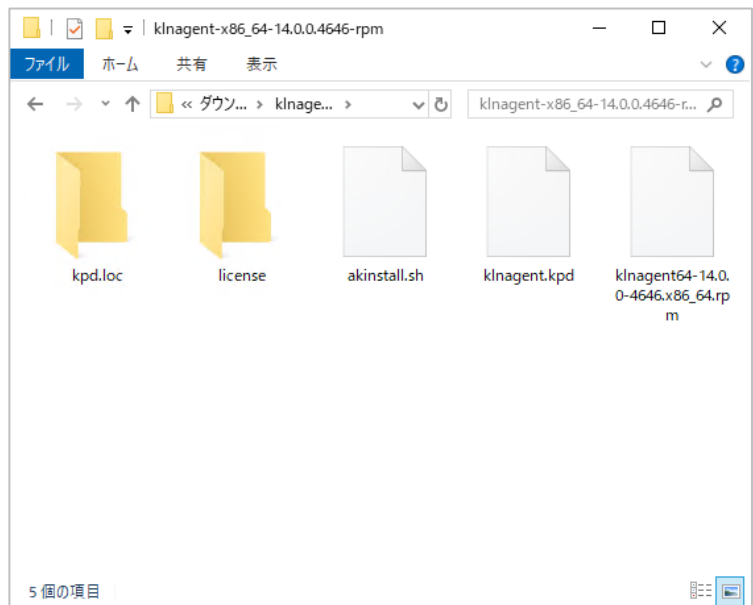
「Version11.x.x.xxxx | Red Hat Enterprise Linux x64 | Files for Agent remote installation」

※Debian 系 OS の場合

「Version11.x.x.xxxx | Debian x64 | Files for Agent remote installation」



(3) (2)でダウンロードしたファイルを任意のフォルダーへ解凍します。



(4) KSC 管理コンソールを開き、「インストールパッケージ」を開き、「インストールパッケージの作成」をクリックします。



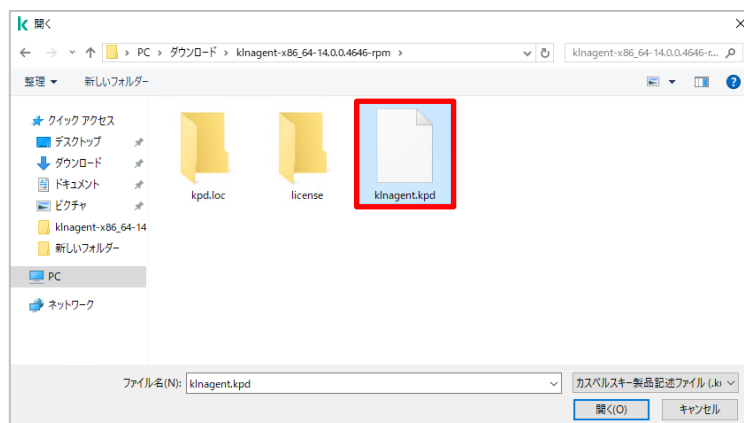
(5) インストールパッケージの種別を選択します。
「カスペルスキー製品のインストールパッケージを作成する」をクリックします。



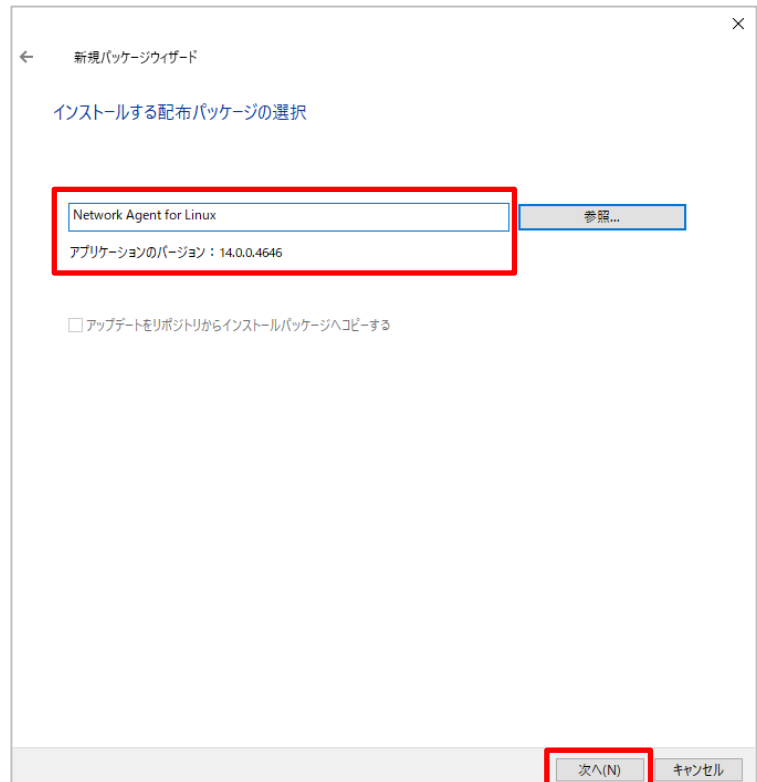
- (6) インストールパッケージ名を入力し、「次へ」をクリックします。
ここでは「KESL-Network Agent」とします。



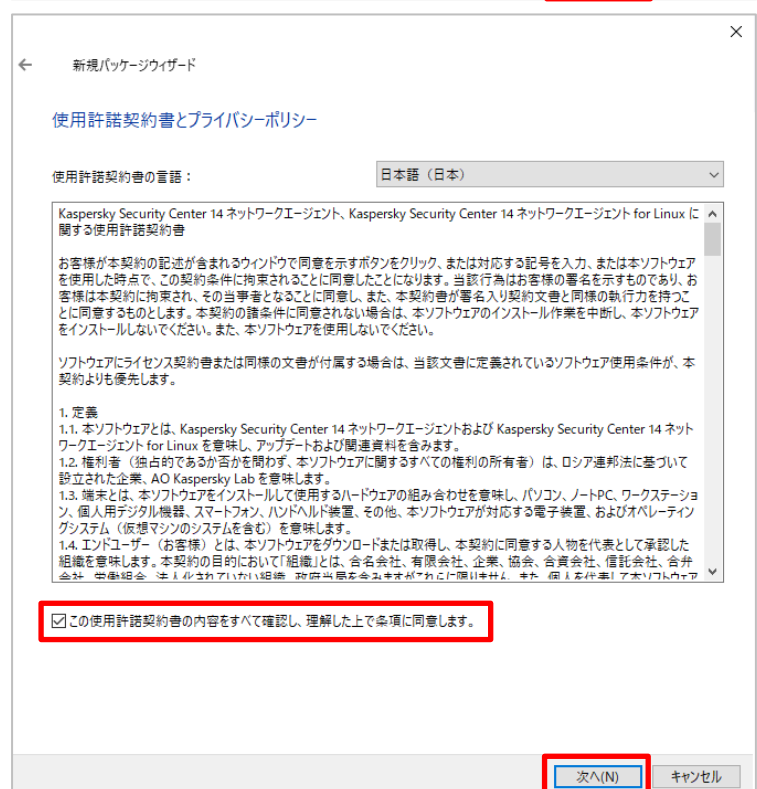
- (7) インストールする配布パッケージを選択します。「参照」をクリックし、(3)で解凍したフォルダー内にある「klnagent.kpd」を選択します。



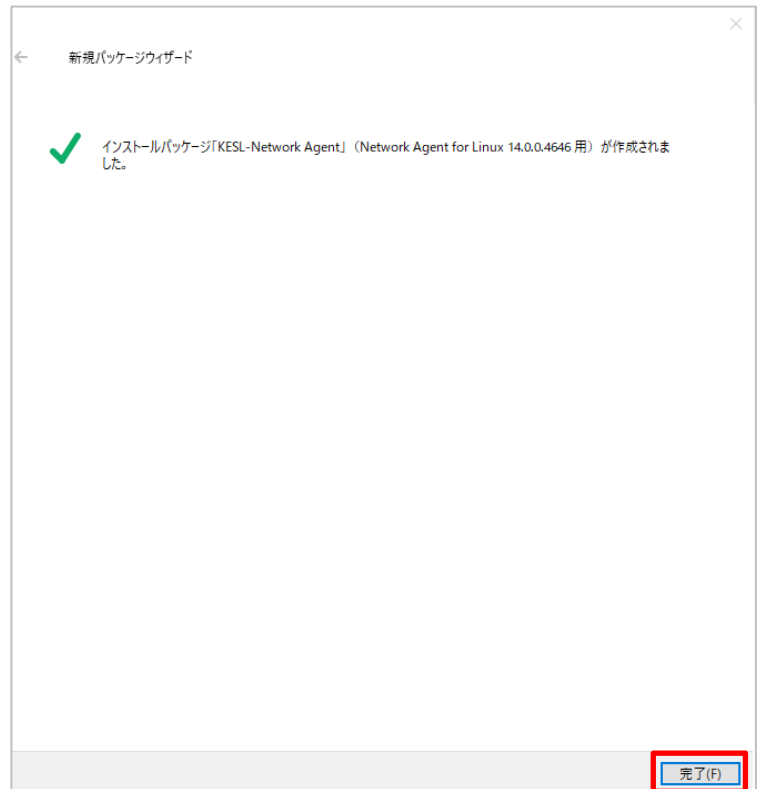
- (8) アプリケーション名やバージョン情報が表示されたことを確認して「次へ」をクリックします。



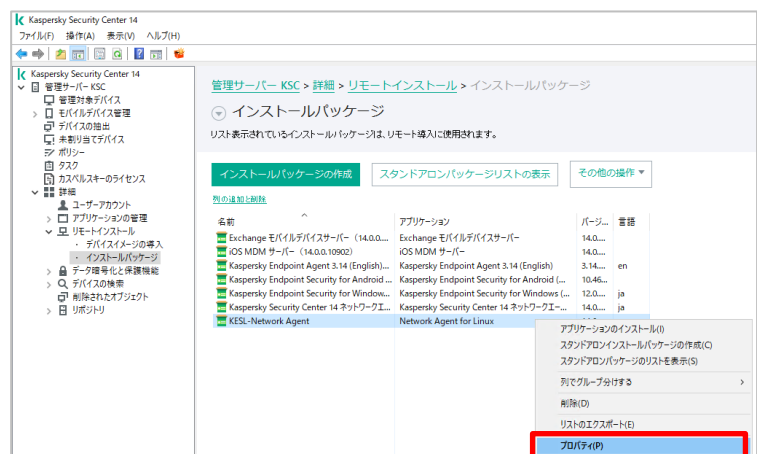
- (9) 使用許諾契約書とプライバシーポリシーを確認します。「使用許諾契約書の条項」とのチェックボックスを ON にして「次へ」をクリックします。



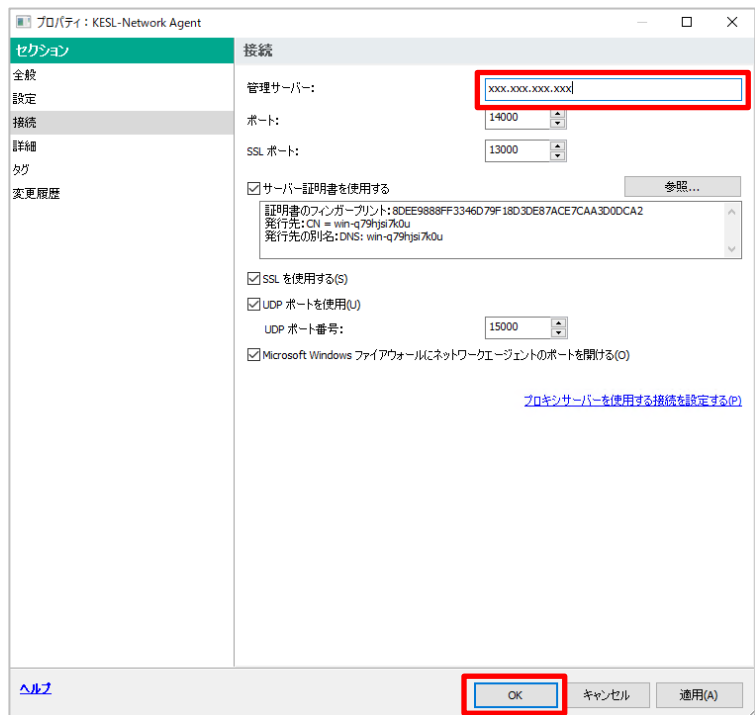
(10) 完了をクリックします。



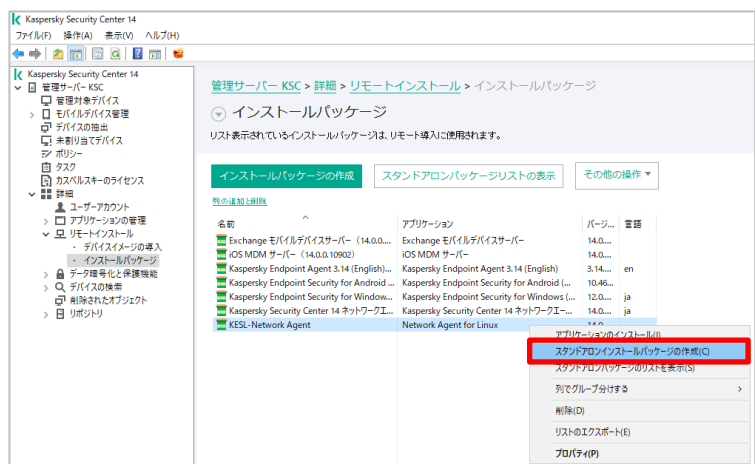
(11) 作成したインストールパッケージを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。



- (12) 「接続」セクションの管理サーバーの IP アドレスの設定が正しく設定されていることを確認し、「OK」をクリックします。



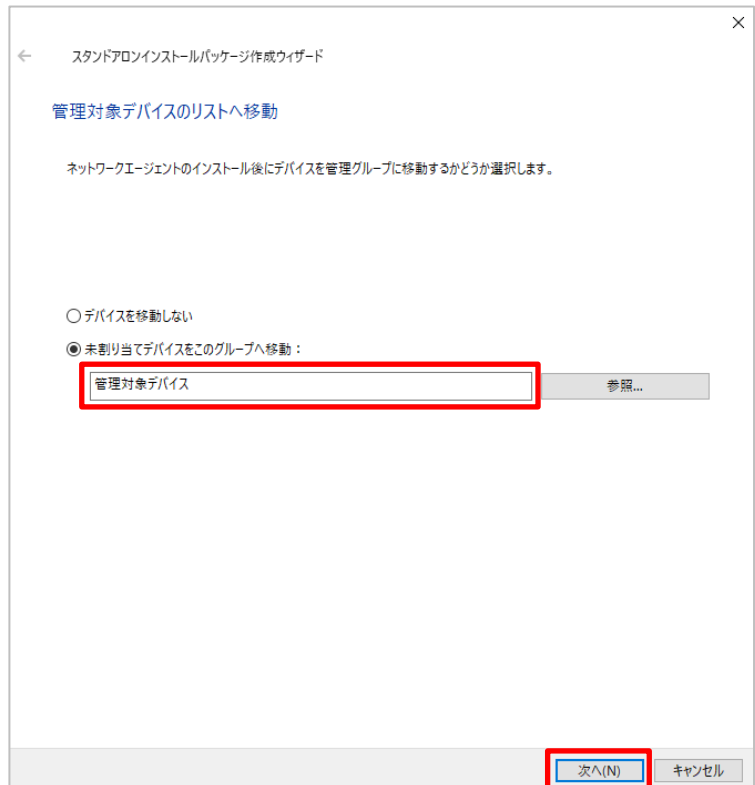
- (13) 作成したインストールパッケージを右クリックし、「スタンドアロンパッケージの作成」をクリックします。



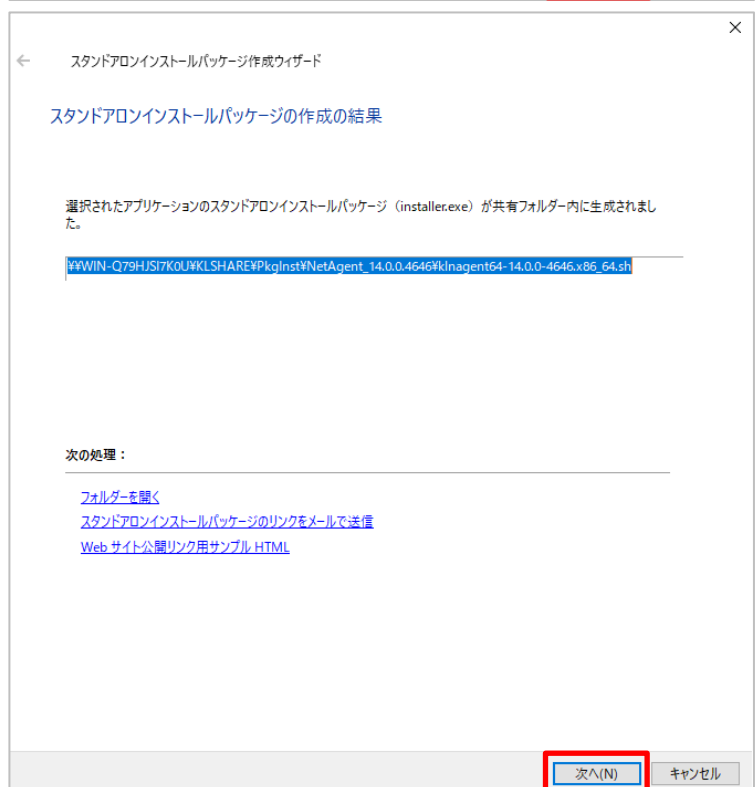
- (14) ネットワークエージェントインストール後にデバイスを移動するグループを選択します。

「参照」をクリックし、移動するグループを選択して「次へ」をクリックします。

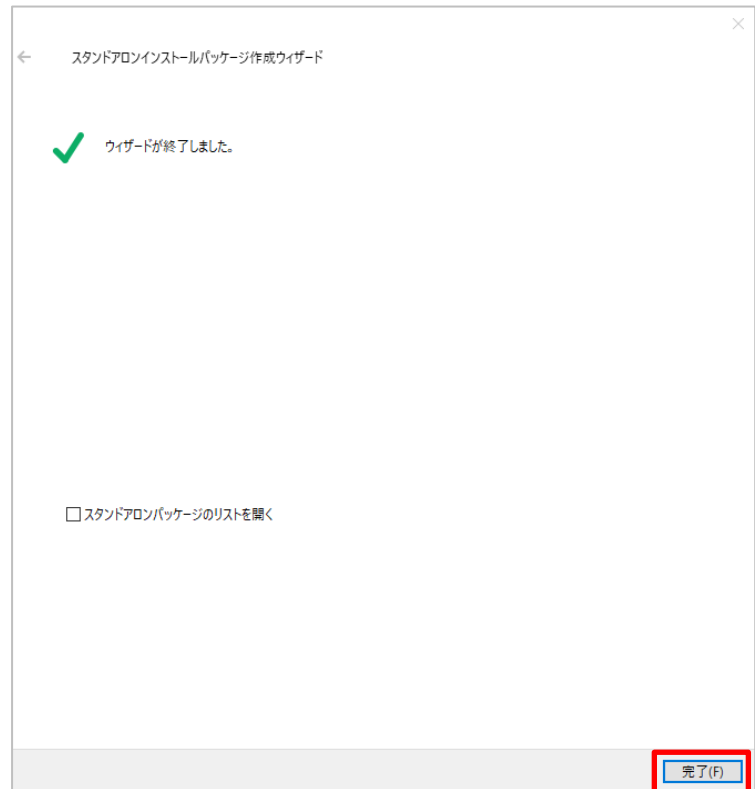
ここでは移動するグループを「管理対象デバイス」とします。



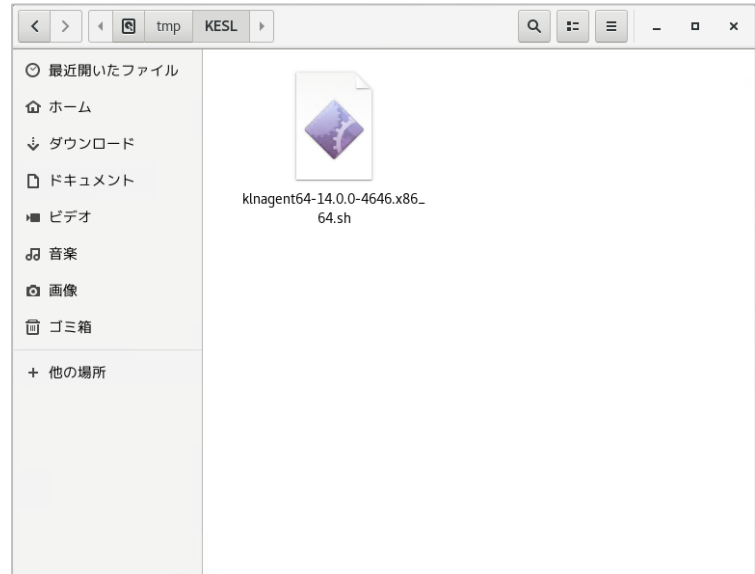
- (15) スタンドアロンパッケージの作成結果が表示されます。そのまま「次へ」をクリックします。



(16) 「完了」をクリックします。



(17) (13)で作成したスタンドアロンインストールパッケージを LinuxOS にコピーします。
ここでは、Linux 上の /tmp/KESL/ にコピーしています。



(18) コンソール上からファイルの保存場所に移動し、インストールコマンドを実行します。

```
[root@localhost ~]# cd /tmp/KESL/
[root@localhost KESL]# sh klnagent64-14.0.0-4646.x86_64.sh
```

<コマンド>

```
cd /tmp/KESL
sh klnagent64-14.x.x-xxxx.x86_64.sh
```

- (19) インストールが完了すると、「Product successfully installed!」を表示されます。

```
Unpack archive to '/tmp/28.03_17.02.48.228906886'...
Found installer...
Found parameters...
Run package installer 'akinstall.sh' ...
[2023/03/28 17:02:48] Ready to start installation...
[2023/03/28 17:02:48] Reading kpd-file
/tmp/28.03_17.02.48.228906886/klnagent.kpd
[2023/03/28 17:02:48] +++ Installation klnagent64 version 14.0.0.4646 started
[2023/03/28 17:02:48] Package type specified in kpd-file is ALL
[2023/03/28 17:02:48] Checking if any supported package managers are
installed...
[2023/03/28 17:02:48] Result of check if RPM package manager is missing - 0
[2023/03/28 17:02:48] Result of check if DPKG package manager is missing - 1
[2023/03/28 17:02:48] Result of check if PKGNG package manager is missing - 1
[2023/03/28 17:02:48] Following package managers are missing: RPM - 0, DPKG
- 1, PKGNG - 1
[2023/03/28 17:02:48] Using package manager RPM
[2023/03/28 17:02:48] +++ Installing from package
/tmp/28.03_17.02.48.228906886/klnagent64-14.0.0-4646.x86_64.rpm
[2023/03/28 17:02:48] Executing rpm --quiet -q klnagent
[2023/03/28 17:02:48] Executing rpm -U klnagent64-14.0.0-4646.x86_64.rpm
klnagent64.service is not a native service, redirecting to /sbin/chkconfig.
Executing /sbin/chkconfig klnagent64 on
Start automatic installation
Starting klnagent64:

Kaspersky Network Agent is installed.
Binaries were installed in /opt/kaspersky/klnagent64/bin
Product successfully installed!
Clean temporary directory '/tmp/28.03_17.02.48.228906886'
```

- (20) ネットワークエージェントの稼働を確認するため、以下コマンドを実行し、すべての項目が OK であることを確認します。

<コマンド>

```
/opt/kaspersky/klnagent64/bin/klnagchk
```

```
[root@localhost KESL]# /opt/kaspersky/klnagent64/bin/klnagchk
Starting klnagchk utility
Checking command-line arguments...OK
Initializing basic libraries...OK
Current host is "
Network agent version is '14.0.0.4646'

Reading settings...OK
Checking settings...OK
Administration Agent settings:
Server address: '192.168.0.104'
Use SSL: 1
Compress traffic: 1
Server SSL ports: '13000'
Server ports: '14000'
Use proxy: 0
Certificate: present
Open UDP port: 1
UDP ports: '15000'

Ping period, minutes: 15
Conn timeout, s: 30
RW timeout, s: 180
HostId: c6166d2b-cf81-4ba3-97e7-033eb29f9af8

Connecting to server...OK

Connecting to the Administration Agent...OK
Administration Agent is running
Acquire Administration Agent statistics...OK
Administration Agent statistics:
Ping count: 1
Succ. pings: 1
Sync count: 1
Succ. syncs: 1
Last ping: 2023年03月28日 08時16分51秒 GMT (2023年03月28日 17時16分51秒)

Deinitializing basic libraries...OK
```

本章は以上です。

5. KESL のインストール

本章では、Linux OS に対し、KESL をインストールする手順についてご説明します。

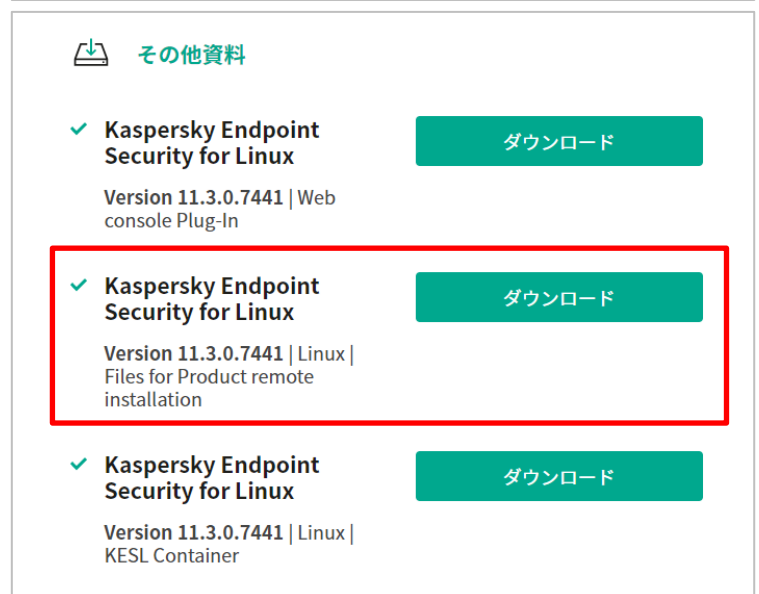
尚、本章では x64 ビットの OS に対するインストールを想定した手順となります。x86 ビットの OS にインストールする場合は x86 ビット OS 用のインストーラーをご利用ください。

- (1) 以下サイトを開き、「最新版をダウンロード」をクリックします。

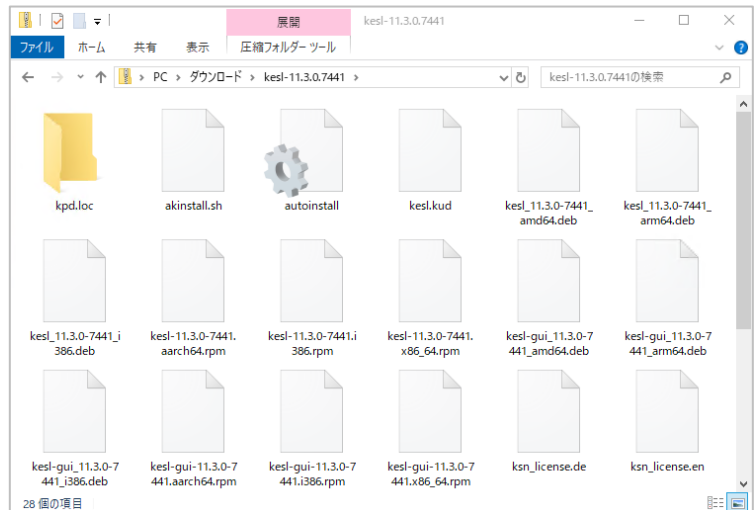
<https://support.kaspersky.co.jp/kes11linux#downloads>



- (2) 表示されたパッケージ一覧内の KESL インストール用ファイル：「Version 11.x.x.xxxx | Linux | Files for Product remote installation」の「ダウンロード」ボタンをクリックします。



- (3) (2)でダウンロードしたファイルを任意のフォルダーへ解凍します。



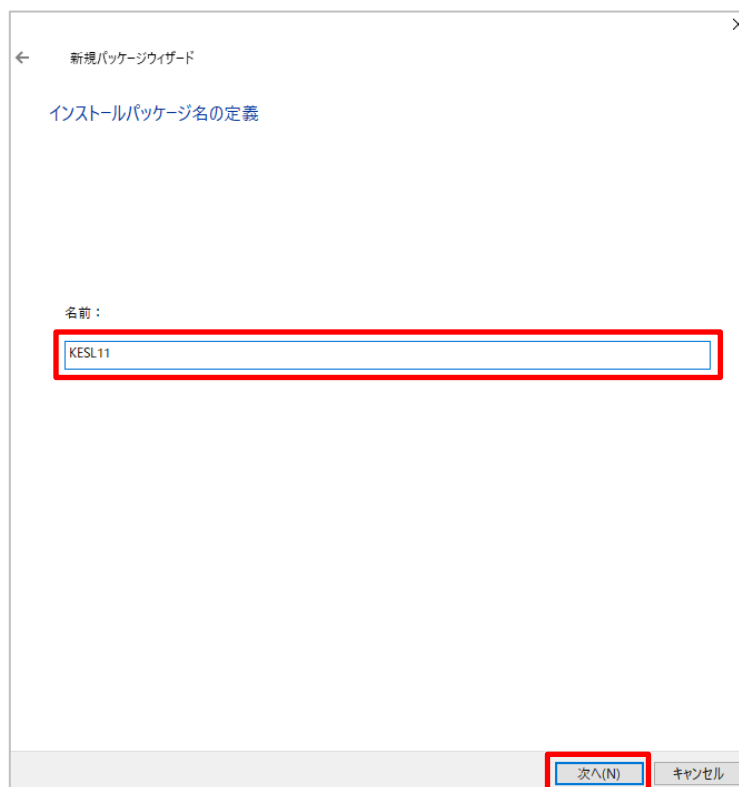
- (4) KSC 管理コンソールを開き、「インストールパッケージ」の「インストールパッケージの作成」をクリックします。



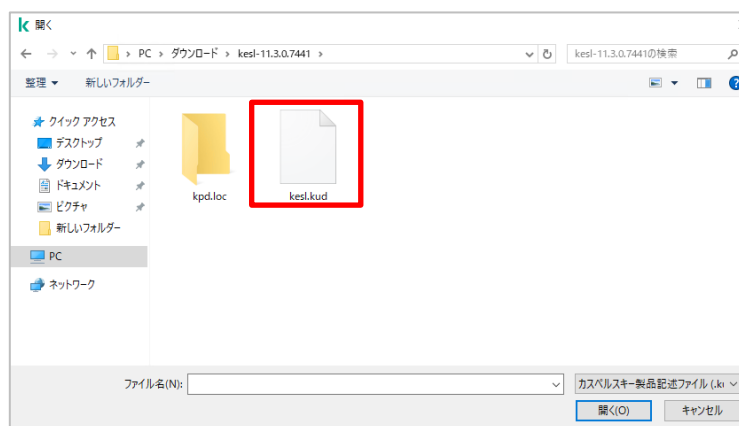
- (5) インストールパッケージの種別を選択します。
「カスペルスキー製品のインストールパッケージを作成する」をクリックします。



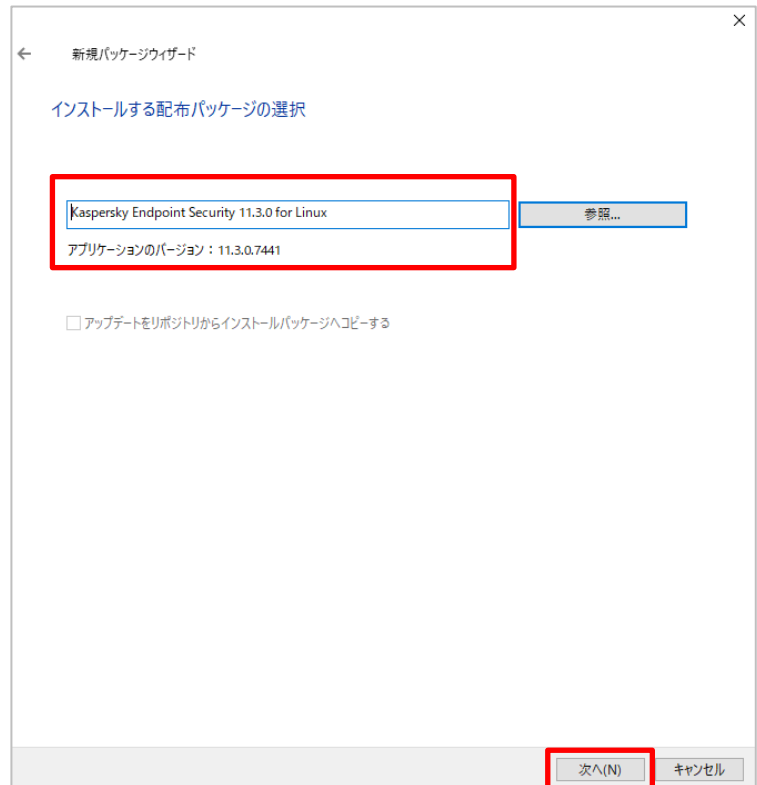
- (6) インストールパッケージ名を入力して「次へ」をクリックします。
ここでは「KESL11」とします。



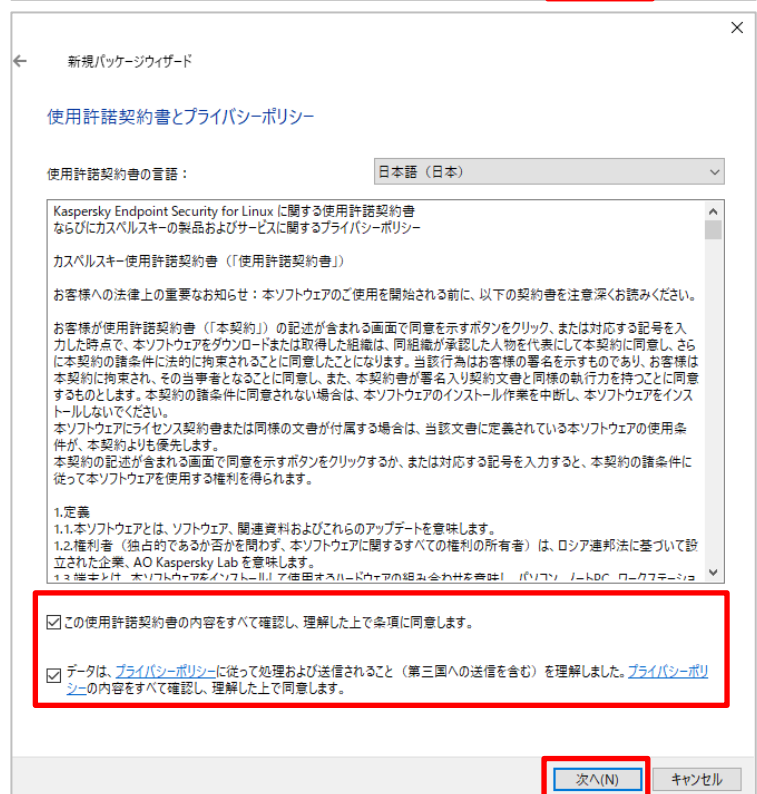
- (7) インストールするパッケージを選択します。
「参照」をクリックし、(2)で解凍したフォルダー内にある「kesl.kud」を選択します。



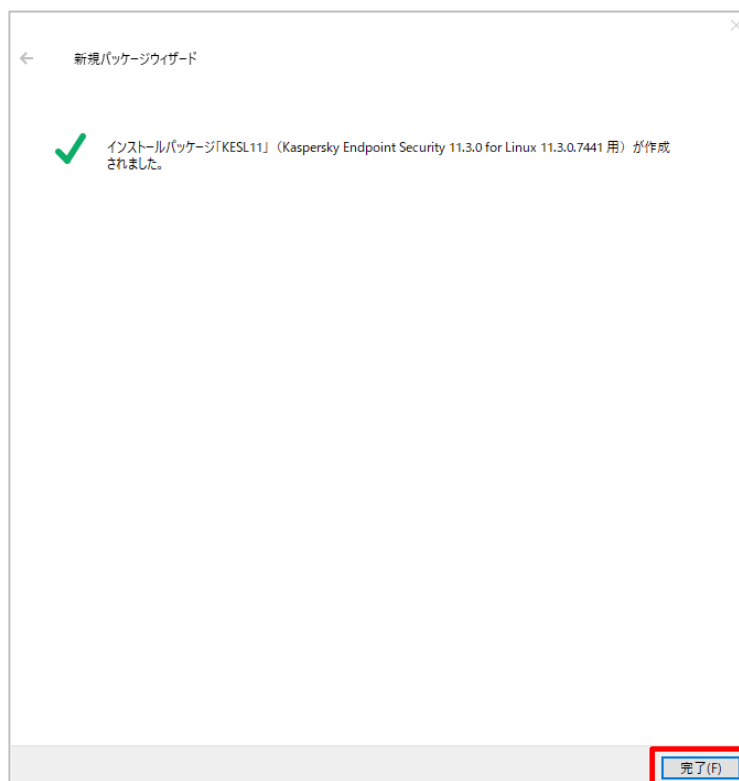
- (8) アプリケーション名やバージョン情報が表示されたことを確認して「次へ」をクリックします。



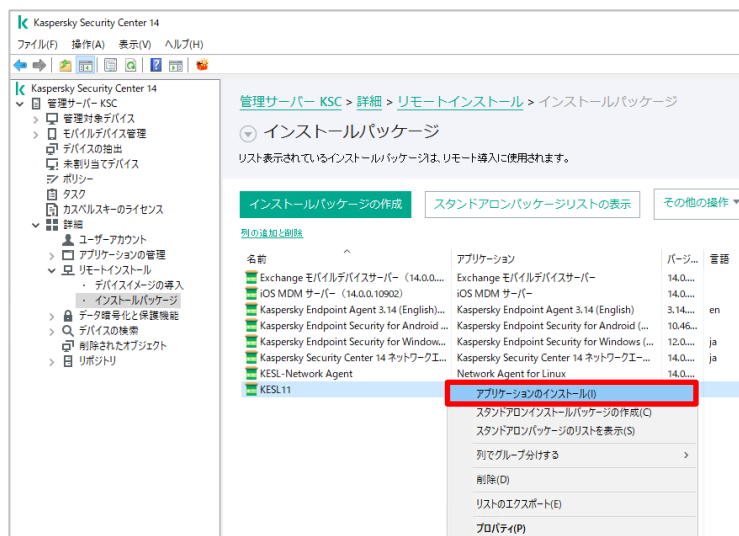
- (9) 使用許諾契約書とプライバシーポリシーを確認します。「使用許諾契約書の条項」と「データの取り扱い方法を記載しているプライバシーポリシー」のチェックボックスを ON にして「次へ」をクリックします。



(10) 「完了」をクリックします。

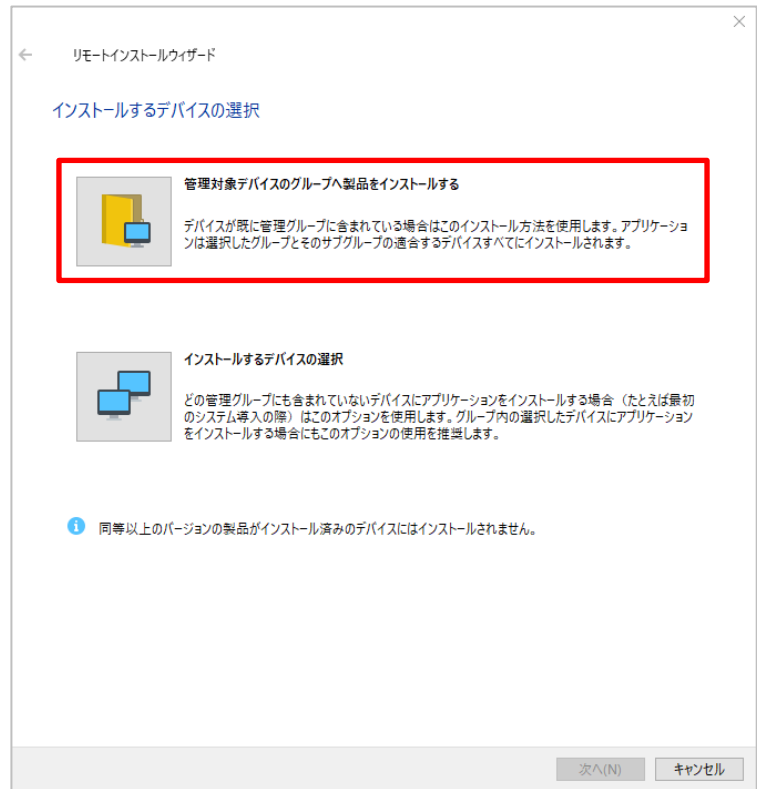


(11) 作成したインストールパッケージを右クリックし、「アプリケーションのインストール」をクリックします。

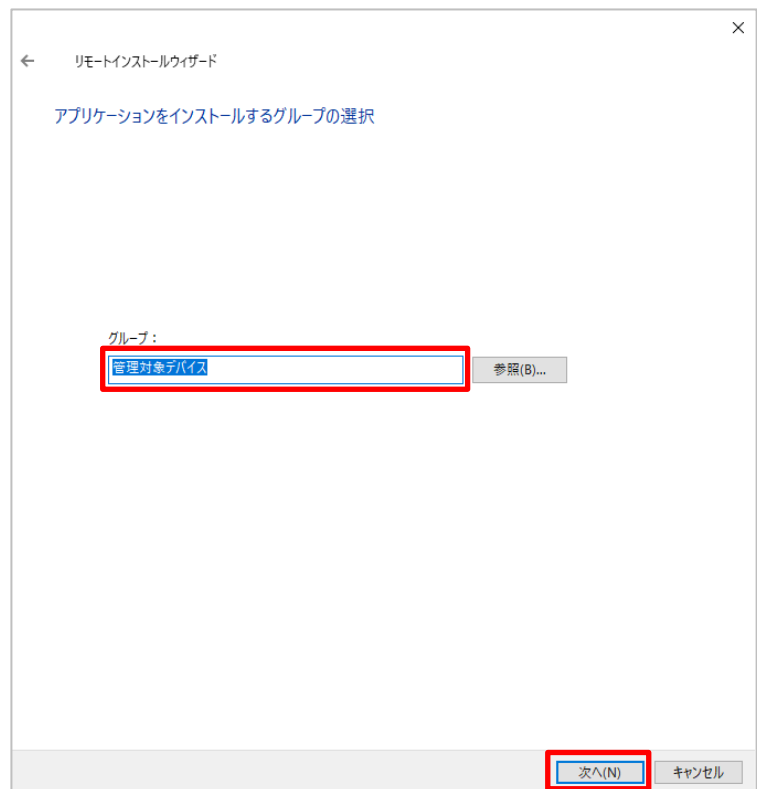


(12) インストールするデバイスの選択をします。

「管理対象デバイスのグループへ製品をインストールする」をクリックします。



(13) 「参照」をクリックし、インストールするデバイスが登録されているグループを選択して「次へ」をクリックします。



- (14) リモートインストールタスク設定の定義を設定します。
既定値のまま「次へ」をクリックします。

リモートインストールウィザード

リモートインストールタスク設定の定義

インストールパッケージの強制ダウンロード

- ☒ ネットワークエージェントを使用する
- ☐ ディストリビューションポイントを通じてオペレーティングシステムの共有フォルダーを使用する
- ☒ 管理サーバーを通じてオペレーティングシステムの共有フォルダーを使用する
クラウドサービスプロバイダーの API を使用して操作を実行するには、特別なライセンスが必要です。 [詳細...](#)

別の管理サーバーの管理対象デバイスに対する処理

- ☒ 全デバイスにインストール(L)
- ☐ この管理サーバーで管理されているデバイスにのみインストール(T)

☒ アプリケーションが既にインストールされている場合再インストールしない

次へ(N) キャンセル

- (15) 適用するライセンスの設定をします。
「ライセンスやアクティベーションコードをインストールパッケージに含めない」にチェックを入れ「次へ」をクリックします。

インストール完了後、KSC に登録されているライセンスが自動的に適用されます。

リモートインストールウィザード

ライセンス情報ファイルの選択

アプリケーション	管理対象デバ...	ライセンス...	上限
Kaspersky Endpoint Security for Business - ...	はい	製品版	300

追加(A) プロパティ(P)

☒ **ライセンスやアクティベーションコードをインストールパッケージに含めない(推奨)(N)**
ライセンスのプロパティで自動配信が有効になっている場合、またはライセンスの追加タスクが作成済みである場合は、この方法を選択します。

☐ **ライセンスまたはアクティベーションコードをインストールパッケージに含める(P)**
インストールパッケージは共有フォルダーに配置されるため、ライセンスが漏洩する可能性があり、推奨されません。

次へ(N) キャンセル

- (16) デバイスにアクセスするアカウントを選択します。そのまま「次へ」をクリックします。

←

リモートインストールウィザード

×

デバイスにアクセスするアカウントの選択

☒ アカウントが不要 (ネットワークエージェントインストール済み)(N)

☐ アカウントが必要 (ネットワークエージェントの使用なし)(A)

管理者権限を持つアカウントをデバイスに追加するか、管理者権限を付与された Active Directory アカウントを使用してインストールを実行します。

名前	種別	
リストが空です。		

追加(A)

プロパティ(P)

↑

↓

×

次へ(N)

キャンセル

- (17) インストールを開始します。そのまま「次へ」をクリックします。

←

リモートインストールウィザード

×

インストールの開始

リモートインストールタスクは作成、設定されました。

既定では、このタスクの実行方法は「手動」です。スケジュールを設定してタスクを実行する場合は、[タスク] フォルダに移動してタスクのプロパティウィンドウの [スケジュール] セクションでタスク実行スケジュールを設定してください。

☐ リモートインストールウィザードの終了後にタスクを実行しない(N)

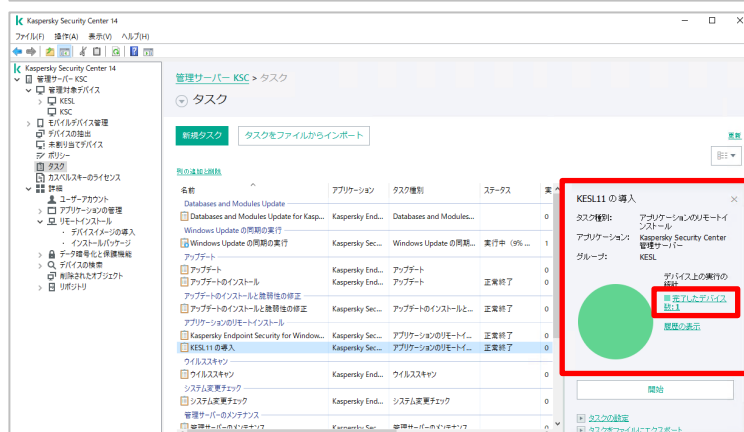
次へ(N)

キャンセル

- (18) インストールが開始されます。「完了」をクリックします。



- (19) 「タスク」タブを開き、「KESL11 の導入」が「完了したデバイス数：1」となっていることを確認します。



本章は以上です。

株式会社カスペルスキー

〒101-0021 東京都千代田区外神田 3-12-8 住友不動産秋葉原ビル 7F

www.kaspersky.co.jp | kasperskylabs.jp/biz/

©2023 Kaspersky Labs Japan. Kaspersky Anti-Virus および Kaspersky Security は、AO Kaspersky Lab の登録商標です。
その他記載された会社名または製品名などは、各社の登録商標または商標です。なお、本文中では、TM、®マークは明記していません。
記載内容は 2023 年 04 月現在のものです。記載された内容は、改良の為に予告なく変更されることがあります。